Ⅴ　ＪＨ25モード法（電気自動車）

1.・2.　（略）

3.　ＨＩＬＳ法

3.1.～3.3.　（略）

3.4.　ＨＩＬＳシステム模擬走行による蓄電装置のＤＣの消費電気エネルギーの算出

別紙１の10.に規定する認証用パラメータ、Ⅲの別紙７に規定する当該自動車の車両総重量等の区分に応じてそれぞれ定める標準車両諸元（試験時車両重量についてはⅢの別紙４の規定）並びにⅢの17.に規定する変速機、終減速機及びタイヤ諸元を入力したＨＩＬＳシステムを用いて、模擬走行（ＨＩＬＳシステム上で認証用ＰＥＶモデルを作動させ、都市内走行モード及び第10条第１表に掲げる縦断勾配付き80㎞毎時定速モード（以下「都市間走行モード」という。）に従い走行することをいう。以下同じ。）を行い、0.2秒以下毎の車速及び走行時における蓄電装置のＤＣの消費電気エネルギーを算出する。

速度及び時間の許容誤差については、各走行モードのあらゆる時点において、速度については±2.0㎞／ｈ以内とし、時間については±1.0秒以内とし、Ⅳの3.4.図１の塗りつぶしの範囲内にあるものとする。

なお、Ⅳの3.4.表１の左欄に掲げる項目に応じてそれぞれ定める許容値以内の場合においては、許容誤差の範囲内とみなす。ただし、発進時及び変速操作時の逸脱時間は総積算時間には含めないこととする。

また、加速時においてアクセルペダルを全開にして各走行モードの速度に到達できない自動車にあっては、この限りでない。

都市内走行モードにおける模擬走行では、任意の十分に減速エネルギーを回生できるＳＯＣ状態からの１サイクルを選択し、下記よりＤＣの消費電気エネルギーΔE_{REESSj}を算出する。（別紙３の2.2.で選択したサイクルと同一でなくてもよい。）

$$\Delta E_{REESSj}=\frac{1}{3600}\times\int_{t_0}^{t_{end}}u(t)_{REESS}\times I(t)_i dt$$

ΔE_{REESSj}：検討対象の模擬走行サイクルiに関するＤＣの消費電気エネルギー（Wh）

i：検討対象の模擬走行サイクルの添字番号

j：走行モードの添字記号（u：都市内走行モード，h：都市間走行モード）

１／3600：サイクルエネルギー要求量のWhへの変換係数

$u(t)_{REESS,i}$：対象期間iにおけるＲＥＥＳＳの電圧（Ｖ）

t_0：対象期間iの開始時の時間（ｓ）

t_{end}：対象期間iの終了時の時間（ｓ）

$I(t)_i$：対象期間iにおけるＲＥＥＳＳの電流（Ａ）

都市間走行モードの模擬走行開始時の放電深度についても任意の十分に減速エネルギーを回生できるＳＯＣ状態（ただし、都市内走行モードの模擬走行で設定した値と異なってもよい）とし、上記よりＤＣの消費電気エネルギーΔE_{REESSj}を算出する。なお、走行途中に蓄電装置の下限電圧に達した場合には、蓄電装置の放電深度を走行開始時と同値に修正して模擬走行を継続する。

Ⅴ　ＪＨ25モード法（電気自動車）

1.・2.　（略）

3.　ＨＩＬＳ法

3.1.～3.3.　（略）

3.4.　ＨＩＬＳシステム模擬走行による蓄電装置のＤＣの消費電気エネルギーの算出

別紙１の10.に規定する認証用パラメータ、Ⅲの別紙７に規定する当該自動車の車両総重量等の区分に応じてそれぞれ定める標準車両諸元（試験時車両重量についてはⅢの別紙４の規定）並びにⅢの17.に規定する変速機、終減速機及びタイヤ諸元を入力したＨＩＬＳシステムを用いて、模擬走行（ＨＩＬＳシステム上で認証用ＰＥＶモデルを作動させ、都市内走行モード及び第10条第１表に掲げる縦断勾配付き80㎞毎時定速モード（以下「都市間走行モード」という。）に従い走行することをいう。以下同じ。）を行い、0.2秒以下毎の車速及び走行時における蓄電装置のＤＣの消費電気エネルギーを算出する。

速度及び時間の許容誤差については、各走行モードのあらゆる時点において、速度については±2.0㎞／ｈ以内とし、時間については±1.0秒以内とし、Ⅳの3.4.図１の塗りつぶしの範囲内にあるものとする。

なお、Ⅳの3.4.表１の左欄に掲げる項目に応じてそれぞれ定める許容値以内の場合においては、許容誤差の範囲内とみなす。ただし、発進時及び変速操作時の逸脱時間は総積算時間には含めないこととする。

また、加速時においてアクセルペダルを全開にして各走行モードの速度に到達できない自動車にあっては、この限りでない。

都市内走行モードにおける模擬走行では、ＲＥＥＳＳが満充電の状態から走行模擬を行い、走行できなくなった段階で中止基準に達したものとみなす。

その後、任意の暖機状態相当かつ十分に減速エネルギーを回生できるＳＯＣ状態からの１サイクルを選択し、下記よりＤＣの消費電気エネルギーΔE_{REESS}を算出する。（別紙３の2.2.で選択したサイクルと同一でなくてもよい。）

$$\Delta E_{REESS}=\frac{1}{3600}\times\int_{t_0}^{t_{end}}u(t)_{REESS}\times I(t)_i dt$$

ΔE_{REESS}：検討対象の模擬走行サイクルiに関するＤＣの消費電気エネルギー（Wh）

i：検討対象の模擬走行サイクルの添字番号

１／3600：サイクルエネルギー要求量のWhへの変換係数

$U(t)_{REESS,i}$：対象期間iにおけるＲＥＥＳＳの電圧（Ｖ）

t_0：対象期間iの開始時の時間（ｓ）

t_{end}：対象期間iの終了時の時間（ｓ）

$I(t)_i$：対象期間iにおけるＲＥＥＳＳの電流（Ａ）

都市間走行モードの模擬走行開始時の放電深度については任意の暖機状態相当かつ十分に減速エネルギーを回生できるＳＯＣ状態（ただし、都市内走行モードの模擬走行で設定した値と異なってもよい）とし、走行途中に蓄電装置の下限電圧に達した場合には、蓄電装置の放電深度を走行開始時と同値に修正して模擬走行を継続する。